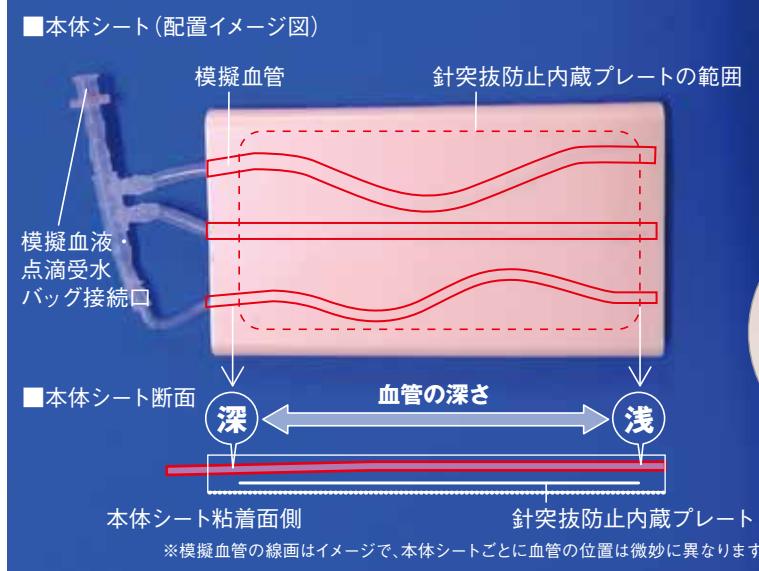


## 注トレくん本体の特長



模擬血管 直・蛇行(太)・蛇行(細)への穿刺の練習ができるシートです。一人でも二人でも練習ができ、模擬血液を使ったよりリアルな練習も可能です。



本体シートにはポリウレタン樹脂を使用しているので、弾力があり、血管の触診練習にもお役立ていただけます。

## !! 使用上のご注意 正しくご使用いただくために、必ずお守りください。

### <製品について>

- ① 実際の人体の静脈をイメージして製造していますが、**実際の人体と模擬血管の硬さや状態等は異なります**のでご了承ください。
- ② 本体シートの素材の硬さは、素材の性質上多少の差が生じる可能性があります。ご了承ください。
- ③ 本体シートの裏面は、高い粘着力をもっており、塗装の剥がれやすい台への貼付後、剥がす際に塗装が剥がれる恐れがあります。**塗装の剥がれやすい台での使用**はお止めください。**紙等が付着すると剥がれない恐れがあります。**
- ④ 使用後に、**貼付した台から本体シートを剥がすときには、針突抜防止内蔵プレートに手を添えて剥がしてください。**端だけをつまみあげると、突抜防止内蔵プレートが本体から剥がれる可能性がありますので、手を添えて、丁寧に剥がしてください。
- ⑤ 製品の素材の性質上、穿刺練習により本体製品に針の刺し跡が残ります。本製品は頻回な練習用教材を目的として開発した消耗品のため、穿刺練習の方法によっては使用回数、耐久性に差が生じます。そのことをあらかじめご理解の上、ご活用ください。

### <素材について>

本体シートはポリウレタンでできています。ポリウレタンの性質上紫外線により、変色する可能性があります。使用しない時は専用ケースに保管して紫外線に当たらないようにしてください。また万一、変色しても用途には支障はありませんので、そのままご使用いただけます。変形の原因になりますので、長時間水に浸さないでください。

### <模擬血液について>

- ① 模擬血液を利用する場合は、染料(別売)を水に溶いてご利用ください。**染料は衣類などに付着すると取れません。**付着した場合速やかに水で洗い流してください。また、机についた場合アルコール綿で拭くと取れる場合があります。
- ② 一度穿刺した模擬血管に模擬血液・点滴受水バッグを接続した状態で押したり、持ち上げたりして血管に圧をかけると、穿刺した穴から液漏れします。**バッグを吊ったり、押したり、持ち上げたりしないでください。**

### <使い方について>

- ① 必ず、資格を有する指導者の指導の元で、練習をおこなってください。
- ② 注射針を使用した練習は、注射針の使用的許可が必要です。各所属の教育担当者様、施設管理者様への確認の下、ご使用ください。
- ③ 針突抜防止内蔵プレートは、本体シートの構造上模擬血管の下のみに配置されています。本体シートの外縁、バンド固定部分の上下の端にはありませんので、静脈注射の練習は、必ず模擬血管の真上からおこなってください。**針突抜防止内蔵プレートをはずれた部分での針刺しは絶対にお止めください。**また、安全、事故防止のため、**必ず針突抜防止板(白)**を併用してください。

### <模擬血管について>

本品シートに内蔵している模擬血管の結合部分には若干の隙間があります。これは製品ごとにバラツキがありますが、使用するポリウレタン素材の成形時の伸縮により発生するものです。そのため、この隙間に注射針を差し込んだ場合、本品を針が貫通する恐れがありますので、充分ご注意ください。また、模擬血液・点滴受水バッグの着脱時など、模擬血管を強く引っ張らないでください。

## 取扱説明書

ナース<sup>®</sup>あい

# 注トレくん<sup>®</sup> III

リアルな感触!! 採血・静注・点滴もできる!  
血管3タイプ「末梢静脈注射」練習シート

このたびは、「注トレくんIII」をお求めいただき、誠にありがとうございます。本製品を正しくご使用いただくため、この取扱説明書をよくお読みください。なお、お読みいただいた後は、大切に保管し、必要な時にお読みください。本製品は、末梢静脈注射の練習用のツールとしてご活用ください。左腕の末梢静脈周辺の解剖の理解と注射の手技を実施するうえでの注意点などを確認していただくためのもので、医行為を保証するものではありません。

### 本製品の目的

この商品は、末梢静脈注射の認められた医療者・救急救命士とその学生のための技術習得を目的とした練習ツールです。また、**医行為を保証するものではありません**。充分ご理解のうえご使用ください。

### 製品内容



- ① 末梢静脈注射練習シート「注トレくんIII」(本体)  
内蔵内容
  - ・ 模擬血管 3 本・接続部品 3 個(キャップ付)
  - ・ 針突抜防止内蔵プレート
- ② 針突抜防止板(白) ..... 1 枚
- ③ 腕巻き補助バンド ベージュ(ゴム製) ..... 1 本
- ④ 腕巻き補助バンド 白(マジックテープ) ..... 1 本
- ⑤ 「左肘窓図解」台紙 ..... 1 枚
- ⑥ 模擬血液・点滴受水バッグ(キャップ付) ..... 一式
- ⑦ 吸水シート ..... 1 枚
- ⑧ 専用収納ケース ..... 1 袋
- ⑨ 取扱説明書(本紙)
- ⑩ 参照資料

★本体素材はベージュ版・透明版があります。

※手袋、注射針、注射器、駆血帯(ゴム紐)は商品に含まれません。また、(株)ナースあいでは注射器、注射針のお取り扱いはできませんので、あらかじめご了承ください。

### 製品の仕様

<品名>末梢静脈注射練習シート「注トレくんIII」

<サイズ>本体シート/(最大) 縦 125×横 70×厚み 10 mm、携帯ケース/縦 160×横 210×厚み 15 mm

<総重量>約 260g

<材質>本体/ポリウレタン・シリコンチューブ・ポリエチレンプレート

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。品質には万全を期しておりますが、万一不具合や、お気付きの点がございましたら、ご使用にならずに、当社ご相談窓口までご連絡ください。開封時に不良がわかりましたら無償交換いたします。ただし、一度使用されたものに関しての交換は一切応じることができませんので予めご了承ください。

ナースの現場で必要なものを。アイデアから形へ  
**ナース<sup>®</sup>あい**

ご相談窓口

製品販売元／株式会社 ナースあい 神戸市中央区橋通1丁目2番14号 浅見ビル1階  
TEL: 078-599-7644 FAX: 078-599-7645 URL: http://chutrakun.com

AI0003-man2511

# 使用方法

※必ず、資格を有する指導者の指導の元で、練習をおこなってください。

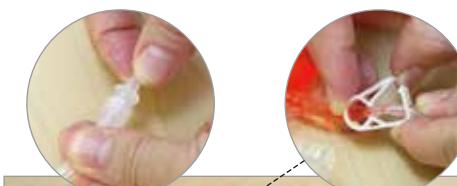
## (1) 準備

### 【模擬血液バッグを使用する場合】

①模擬血液・点滴受水バックにカテーテルシリジンの外筒のみを接続し、直接、水(模擬血液)を入れる。



②クランプを開めた状態  
で、使用する模擬血管の接続口に接続する。



※写真では模擬血液の流れが分かりやすいように、本体は透明版を使用しています。

③バッグのクランプを開ける。  
④接続口の反対側の血管の端から空の注射器の針を刺入し、**注射器**で血液を吸引し、端まで充填する。



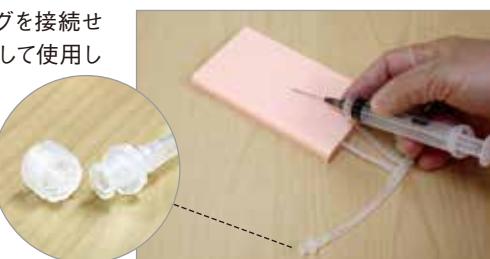
⑤クランプは開けたまま、使用する。

★水(模擬血液)に別売の染料を入れると、よりリアルな練習ができます。繰り返し使用することができ、準備・片付けも簡単です!

すぐに練習できる!

### 【模擬血液バッグを使用しない場合】

模擬血液・点滴受水バッグを接続せず、接続口のキャップを外して使用してください。



正しく模擬血管に針が入っていると、空気が引けます(二人で練習する場合も同様)。

## (4) 片付け

①本体シートとバッグの接続部分の下に吸水シートを敷き、クランプを開ける。

②空気を入れた注射器の針を接続口の反対側の血管の端から刺入する。

③模擬血管内の血液を、模擬血液・点滴受水バック内に空気で送り込み、収納する。

\*カビの発生の原因となりますので、模擬血液・点滴受水バック内の模擬血液は使用の度に破棄してください。

④バッグのクランプを閉める。

⑤接続を外し、接続口のキャップ、バッグのキャップをそれぞれ付ける。

## (2) 使用目的に合わせて

### 【二人で練習する場合】

①安全対策のため針突抜防止板(白)を本体シートの裏面(粘着面)に必ず装着してください。



②装着する人の肘辺りに腕巻き補助ベルトを装着する。



③模擬血液を充填した本体を穿刺したい部位に装着する。腕巻き補助ベルトを本体の下縁に設置し、腕に固定する。本体設置の上下は、状況に応じて設置してください。



④最後にマジックテープの起毛側が肌に当たるように本体上縁に巻き、閉めすぎないように固定する。



\*皮膚に異常がある場合は、皮膚への直接の装着はお止めください。

### 【一人で練習する場合】

机など安定した台の上に、本体シートを貼り付けて手技をおこないます。

\*「注トレくん」を張り付けて練習しようとする机の表面の塗装が取れないか、確認してください。



## (3) 手技の練習…注トレくんⅢでできること

### 【刺入角度の実際の確認】

「左肘窩図解」台紙ウラ面の「刺入角度チェックコーナー」を参照して正しい刺入角度を練習することができます。



### 【点滴・静脈注射】

模擬血液・点滴受水バックを接続することで、実際に(模擬)点滴の滴下や(模擬)薬液の注入が可能になります。



### 【逆血確認・採血(注射器・真空)】

逆血確認・採血の手順に沿って穿刺し、模擬血液を吸引する。正しく模擬血管に針が入っていると、模擬血液を吸引できます。



### 【留置針の穿刺や固定】

模擬血液を充填した状態で、模擬血液・点滴受水バックを留置針の穿刺部位より、本などで2cm高い位置に設置すると留置針の穿刺でのバックフローが再現できます。



お手入れもカンタン!

### 【本体シートのお手入れについて】



本体シート裏面の粘着部分に汚れが付いたとき、また粘着性が低下したときは、水か湯ですすぎ洗いし、振って乾燥させてください。紙や布で直接粘着面を拭くと、付着する恐れがあります。使用後は、本体シートを「左肘窩図解」台紙に貼り、「専用ポーチ」に入れて保管してください。

\*長時間水に浸しておくと変形する恐れがあります。